

専門教育科目	講義科目
--------	------

科目名：	<b>組織変革論</b>		科目コード	EJ52	
科目主査：	<b>齊藤 弘通</b>	担当講師：	<b>齊藤 弘通、中村 光延、 松本 久良</b>		
			単位	2	
			配当年次	3・4	
授業の目的と概要		グループワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>組織変革とは、組織内外の様々な環境要因に適応するため、組織を望ましい状態に変化させていくプロセスを指します。組織変革の対象となるものは、「戦略」「技術」「組織構造」「職務」「人」と多岐に渡り、組織変革の実行においては、戦略や構造、制度など、組織のハード面の変革にとどまらず、組織メンバーの意識や価値観、行動規範など、組織のソフト面の変革にも着手することが求められます。本科目では、組織変革をめぐる諸理論を概観するとともに、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの育成と活用を中心に、組織変革の実効性を高めるための具体的な考え方と方法論を学びます。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>初学者向けのスクーリングです。企業における組織変革の事例などを紹介しながら、初学者にもわかりやすく解説します。事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、テキストに線を引いておきましょう。</p>				
テキスト	『チェンジ・エージェントが組織を変える 組織変革実践ガイド』学校法人産業能率大学総合研究所編著、産業能率大学出版部、最新版				
この科目の到達目標	<p>①組織変革をめぐる諸概念、組織変革の必要性、組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）の設計・運用上のポイント、変革プログラムの推進体制、組織変革に向けたリーダーシップ、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの役割や活動イメージ、変革の内容を現場に浸透・定着させる上での方法や留意点について説明できる。 ②学習した事柄を、自身の仕事上の課題や自組織の課題解決に応用することができる。</p>				
成績評価の方法	<p>① 2日間、授業に出席をすることが前提です。 ② 1日目終了後、1日目の授業内容に関する課題（論述問題）を提示し、その課題に対する記述内容を評価します。 ③ 2日目終了後、最終試験を課し、その解答内容を評価します。 ④ 最終試験の際、テキスト、配布資料、ノートを参照することは可とします。</p> <p>※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>				
事後学習	<p>授業を通して学習した理論や概念を、自身の仕事上の課題や自組織の課題解決にどのように応用できるかについて考察してください。</p>				
事後学習の参考文献	<p>『組織変革のビジョン』金井 壽宏, 光文社新書, 2004年 『入門 組織開発 生き活きと働ける職場をつくる』中村 和彦, 光文社新書, 2015年 『なぜ会社は変わらないのか 危機突破の風土改革ドラマ』柴田 昌治, 日経BPマーケティング, 2003年 『「学びほぐし」が会社を再生する 企業とファンドの組織変革物語』安嶋 明, 岩波書店, 2022年</p>				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					